

# 中国・ASEAN 地域に生産拠点を有する 日系食品メーカー法人アンケート調査を実施（2016年）

## 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて中国およびASEAN地域を中心とする海外生産拠点（委託生産を含む）を有する日系食品メーカーに対し、海外生産拠点における原材料・素材仕入や生産、仕向け先などについて、法人アンケート調査を実施した。

1. 調査期間：2016年12月
2. 調査対象：中国およびASEAN地域（インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、カンボジアの8か国）を中心とする海外生産拠点（委託生産を含む）を有する日系食品メーカー61社
3. 調査方法：電話ヒアリング形式（日本国内で実施）

### ＜中国・ASEAN 地域に生産拠点を有する日系食品メーカー法人アンケート調査について＞

本アンケート調査は、日系食品メーカーに対し、中国およびASEAN地域を中心とする海外生産拠点における原材料・素材仕入や生産、仕向け先などについて、電話によるアンケートを実施した。ここでは中国・ASEAN地域における海外生産拠点の生産体制と現地における原材料・素材サプライヤーの品質評価について取り上げ、分析を行った。

なお本アンケート調査におけるASEANは、インドネシア、タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、カンボジアの8か国とする。

## 【調査結果サマリー】

### ◆ タイに生産拠点を有する日系食品メーカーの5割強は委託生産

タイでは自社工場（関連子会社含む）の比率40.0%（15拠点中6拠点）よりも、当該国の地場受託工場（7拠点）と当該国の日系受託工場（1拠点）を合わせた比率53.3%（15拠点中8拠点）が上回る結果となり、タイでは委託生産による進出ケースも多いことが示唆される結果となった。

### ◆ 中国では満足できる原材料・素材サプライヤーは少ないとする回答が4割強

中国における現地の原材料・素材サプライヤーに対する品質評価は、「満足できるサプライヤーは多い」の35.1%に対し、「満足できるサプライヤーは少ない」の43.2%となり、現地サプライヤーの品質に対して満足できていないとする回答が上回る結果となった。

### ◆ 資料体裁

資料名：「日系食品メーカーのASEAN・中国地域における  
原材料供給・調達、受託製造戦略」  
発刊日：2017年1月19日  
体裁：A4判 203頁  
定価：150,000円（税別）

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝  
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL：<http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております）<http://www.yano.co.jp/>  
（株）矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL：03-5371-6912 E-mail：[press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

## 【調査結果の概要】

### 1. 国・地域別の生産拠点の生産体制

海外生産拠点(委託生産を含む)を有する日系食品メーカーに対し、海外生産拠点における原材料・素材仕入や生産体制などについて、電話ヒアリング形式の法人アンケート調査を実施した。

本アンケート調査では回答を得た61社に対し、海外生産拠点ごとの生産体制を聞いた(表1参照)。全体では当該国の自社工場(関連子会社含む)が最も多い61.8%(76拠点中47拠点)であった。一方で、当該国の地場受託工場での生産は全体で32.9%(76拠点中25拠点)であった。

本調査結果を国・地域別で見ると、海外生産拠点は中国とタイに集約される様子が窺える。中国では自社工場(関連子会社含む)の比率が62.9%(35拠点中22拠点)と高いが、タイでは自社工場(関連子会社含む)の比率40.0%(15拠点中6拠点)よりも、当該国の地場受託工場(7拠点)と当該国の日系受託工場(1拠点)を合わせた比率53.3%(15拠点中8拠点)が上回る結果となり、タイでは委託生産による進出ケースも多いことが示唆される結果となった。

表1. 国・地域別の生産拠点の生産体制

	当該国の自社工場 (関連子会社含む)	当該国の 日系受託工場	当該国の 地場受託工場	当該国の外資(第 三国)受託工場	他(合併会社・合併 会社)
中国 n=35	22	0	12	0	1
タイ n=15	6	1	7	0	1
ベトナム n=4	2	0	2	0	0
アメリカ n=6	6	0	0	0	0
マレーシア n=3	3	0	0	0	0
インドネシア n=2	1	0	1	0	0
韓国 n=2	1	0	1	0	0
シンガポール n=1	1	0	0	0	0
香港 n=1	1	0	0	0	0
インド n=1	0	0	0	0	1
その他 n=6	4	0	2	0	0
全体 n=76	47	1	25	0	3

矢野経済研究所調査・作成

注1. 調査時期;2016年12月中旬、調査対象(集計対象);中国およびASEAN地域を中心とする海外生産拠点(委託生産を含む)を有する日系食品メーカー61社における海外生産拠点76拠点(1社につき最大2拠点)について集計、調査方法;電話ヒアリング形式、生産拠点が複数ある場合は生産拠点ごとの回答

### 2. 中国・タイにおける現地原材料・素材サプライヤーに対する品質評価

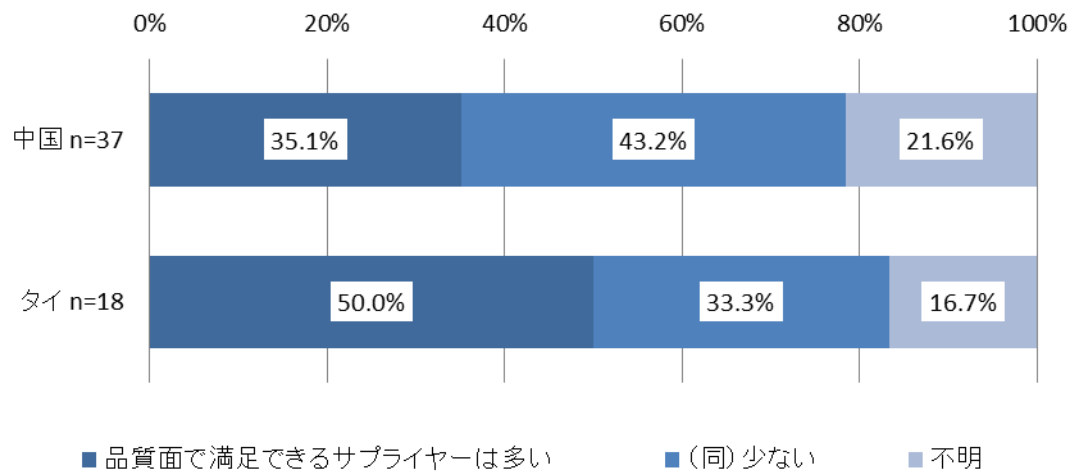
本アンケート調査において、現在生産拠点(委託生産を含む)の有無に関わらず、中国およびASEAN地域における原材料・素材サプライヤーに関する品質評価について聞いた。ここでは生産拠点の多い中国、およびタイについて取り上げる。

中国における現地の原材料・素材サプライヤーに対する品質評価は、「満足できるサプライヤーは多い」の35.1%に対し、「満足できるサプライヤーは少ない」の43.2%となり、現地サプライヤーの品質に対して満足できていないとする回答が上回る結果となった。

一方、タイにおける現地の原材料・素材サプライヤーに対する品質評価は、「満足できるサプライヤーは多い」の50.0%に対し、「満足できるサプライヤーは少ない」の33.3%となり、現地サプライヤーの品質に対して満足できているとする回答が上回る結果となった。

本アンケート調査結果からは日系食品メーカーにおける中国とタイの現地の原材料・素材サプライヤーの品質評価についてはタイの方が高い結果となった。

図 2. 中国・タイにおける現地原材料・素材サプライヤーの品質評価



矢野経済研究所調査・作成

注 2. 調査時期; 2016年12月中旬、調査対象(集計対象); 中国および ASEAN 地域を中心とする海外生産拠点(委託生産を含む)を有する日系食品メーカー61社の中国およびタイにおける回答について集計(1社につき最大2拠点)、調査方法; 電話ヒアリング形式、生産拠点が複数ある場合は生産拠点ごとの回答

### 3. まとめ

本アンケート調査結果から、日系食品メーカーの海外生産拠点数(委託生産を含む)が最も多い中国と2番目に多いタイと比較すると、中国に生産拠点を有する日系食品メーカーは自社工場(関連子会社を含む)で進出するケースが多く、また満足できる現地の原材料・素材サプライヤーは少ないと回答する企業が4割強を占めた。一方、タイは委託生産で進出する企業が5割強を占め、現地の原材料・素材サプライヤーに対する評価も5割と高い結果となった。

本アンケート調査結果からは、現地における生産品目の違いもあるものと推察するが、中国に対してタイでは委託生産による進出率が高く、また現地の原材料・素材サプライヤーに対する評価も高い。日系食品メーカーにおいて現地の原材料・素材サプライヤーに対する評価は、海外拠点の生産体制を構築する上で必要要件の一つになるものと考察する。